

10203織物業における死傷災害100事例まで（2019年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物 (小)	労働者規模
1	2019	1	3 ～ 4	繊維織物準備工程にて、糸の巻取作業の途中で糸切れが多発したため、原因を確認するためにローラーを回転させながら、ローラー表面に直接手で触れ確認しようとした際に、ローラーの間に右腕が挟まり巻き込まれた。	49	7	163	100 ～ 299
2	2019	5	9 ～ 10	運搬ゲートにトラックを駐車していたところ、業者にトラックの移動を頼まれ、トラックを移動し降車したところ、地面につまずき右足首をひねった。	29	19	921	100 ～ 299
3	2019	6	19 ～ 20	工場内の停止していた織機を右手に糸を保持した状態で再稼働させた際、ボーっとしてふらついたため、タッキングユニットのギア部分に右手人差し指を巻き込まれて創傷を負った。	28	7	169	100 ～ 299
4	2019	6	13 ～ 14	整経機で、糸を巻き付ける作業中、整経ビームの側面の拭き忘れに気が付いた。このときは、巻き始めた糸の束を左手で持ちながら、自動回転で拭き掃除を行おうとし、ビームが勢いよく回転し、左手で持っていた糸の束が左手中指をすくい、大きな力で引っ張られたため切れた。その際、左手中指に裂傷を負った。	30	8	169	30 ～ 49
5	2019	6	17 ～ 18	棒を片付けようとしていたところ、近くにあった丸めたネットを結んでいる紐に足を取られ、倒れた際、手をついて左手首を骨折した。	52	2	379	30 ～ 49
6	2019	8	13 ～	工場で、フォークリフトのバッテリー液補充のためバッテリーを取り出そうとして、バッテリーを地面に落としてしまい、戻そうとし	35	4	911	50 ～

			14	た際に、地面とバッテリーの間に右手を挟み、右手中指の打撲傷となった。				99
7	2019	8	17 ～ 18	織機の上での作業終了後、織機より下りようとしたところ、足が引っ掛かりバランスを崩し落下、転倒し右膝蓋骨を折った。	41	1	169	100 ～ 299
8	2019	9	16 ～ 17	延伸ロールのベヤリング修理のため大きなハンマーを使用した際、左肩を負傷した。	42	19	364	10 ～ 29
9	2019	10	8 ～ 9	タオル製造現場で織機に糸を通すために、高さ90cmの台に上がって、対応し、台を下りようとして、台に足が引っ掛かり転倒し、左恥骨骨折となった。	68	1	169	10 ～ 29
10	2019	10	18 ～ 19	工場内のカットワークス作業台の上で梱包作業中、段ボール箱にテープ止めをしていて、過って勢いよくテープを引っ張ってしまい、そのはずみでバランスを崩し、作業台から約90cm下のコンクリートの床に後ろ向きに転落、左手首付近を床に着き、左尺骨蓋状突起と左橈骨遠位端を折った。	47	1	391	30 ～ 49
11	2019	11	13 ～ 14	工場内で、2.1mの高さに設置してあるトラベリングファンを修理するため、社員2人がレールから外す作業をしていた。その際手が滑り、下で作業をしていた被災者の頭上にトラベリングファンが落下して、頭部と右肩を負傷した。	50	1	169	30 ～ 49
12	2019	11	14 ～ 15	織機のコーンスタンド原糸を補充しているとき、右手に持った原糸をコーンスタンドに掛けようとしたとき、体のバランスを崩し右手首をひねり負傷した。	57	19	921	30 ～ 49
13	2019	12	9 ～ 10	当社工場で、作業準備のため糸置き場に糸を取りに行ったとき、濡れていた床で足が滑り、お尻から転んで左手を床についた際、左手尺骨を折り、左肘打撲を負った。	68	2	417	10 ～ 29
			9	織物工場内で、レピア織機上に設置されているジャカード機設置部				10

14	2019	12	～	屋にて通常の仕事の後、高さ3.4mからはしごを使って下りるとき転	66	1	371	～
		10		落した。その際、頭部に外傷を負い、左肩甲骨を折った。				29

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2019年）](#)に戻る。